

2011年の開拓者たち

—九州の産業人—



日本タングステン株式会社

取締役社長 馬場 信哉
福岡市博多区美野島1丁目2番8号

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年、日本の経済は、政府の減税補助金などの政策強化や新興国の経済成長に支えられ、世界的な金融不況から急回復いたしました。一方で円高の進行、中国のレアメタル輸出規制の強化と価格高騰など、課題が山積しており未だ先行きは不透明な状況です。
当社におきましては、市況の回復と同時に、海外事業の再編や事業の選択と集中を進め、業績は何とか最悪期を脱し、黒字へ転換することができました。本年は、海外事業の安定的な収益確保や、商品開発の強化など、より一層の収益力強化にグループ一丸となって取り組んでまいります。
本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



Seibu 西部電機株式会社

取締役社長 木村 馥
福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年は、主要先進国の景気の減速は和らいできたものの、デフレ下の円高などから国内景気は減速感が強まり、設備投資に陰りが見えるなど厳しい経済環境下で推移しました。
本年も、海外の景気動向に加え政局、外交・安全保障上の懸念もあり、経済情勢は予断を許さない状況が続くものと思われまます。
当社はこの厳しい環境を十分に認識し、製品を通じてお客様企業の発展に寄与できるよう、商品力の向上のため「超精密とメカトロメーションの追求」でお客様のニーズに応える新商品・システムの開発に全社を挙げて取り組んでまいり所存でございます。
本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



SEIKO 株式会社 正興電機製作所

代表取締役社長 井上 信之
福岡市博多区東光2丁目7番25号

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社は、「アジアの交流拠点福岡を基盤に、情報と制御の独創技術で環境にやさしく、安全で快適な社会のインフラ構築に貢献する企業」として、無限の可能性を追求し、様々な事業を展開しております。
本年は、中期3ヵ年経営計画「CHALLENGE SEIKO IC2011」の最終年度として、5つの重点課題（「お客様第一の事業運営の推進」、「高収益体制の確立」、「新技術・新市場の育成と創出」、「人材育成」、「CSR経営の推進」）に取り組む、グループ一丸となって、持続的な成長を目指して、経営革新と利益創造に挑戦してまいります。
本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



昭和鉄工株式会社

代表取締役社長 山本 駿一
福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今年の見通しとしては、円高・株安の進行や海外経済の減速、政権の不安定化による景気対策への懸念などから、経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。
このような状況下、当社では創業130周年に当たる平成26年3月期を最終年度とする新中期経営計画「リカバリー130」を策定し、差別化を実現した新製品・サービスの拡販と、技術開発・製品開発及び新規事業を創出するための取り組みを全社的に推進しております。
環境・省エネをキーワードに「技術」と「モノづくり」にさらなる磨きをかけながら、社会の公器として低炭素社会・豊かな未来の創造に向け挑戦してまいります。
本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 西部技研

代表取締役社長 隈 扶三郎
福岡県古賀市青柳3108-3

新年明けましておめでとうございます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年はおかげさまで創立45周年を迎え、一昨年急激に落ち込んだ業績も何とか回復軌道に乗せることが出来ました。昨年1月には中国子会社「西部技研環境節設備(常熟)有限公司」の自社工場も完成し、今後ますます日本を中心に、欧州、米国、中国の四極体制による相乗効果を生かし、「高成長」と「高収益」を両立させるべく、事業に邁進していく所存です。
本年も従来と変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまとともに95周年。

日刊工業新聞社は95周年を機に、「産業界の応援団になる」という目標を掲げております。
知恵と情報を売る産業の総合情報機関として、日本を支える産業界の活動を強力にバックアップしていきたく考えております。
日本企業が強みを持つ成長分野の情報を、新聞はもとより出版、事業、電子メディアなどあらゆる部門を通じて発信して参ります。
こうした活動を通じて、新しい未来へのアプローチを続けていき、産業界の発展に貢献できれば幸いです。